

# プロジェクト報告書

団体名 NPO法人 日本腹話術師協会

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

## 1. プロジェクト名

腹話術による新規ボランティア慰問奉仕活動者研修会

## 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

自主的な取り組み、及び、真如苑様の震災対応の助成金を得ての活動等で、今回の震災被災者に対する福祉慰問活動は、長期的な取り組みとならざるを得ない事を痛感。特に、高齢者や子供たちは今回の被災で内面が大きく傷ついていると思われ、腹話術(パペット人形)を用いた一時の慰問公演が被災者の心を癒し、大きなセラピー効果を上げている事から、更なる活動範囲を広げた取り組みの為に人材育成を行ってきたい。

## 3. プロジェクトの内容 300文字まで

参加者: 東京都多摩地区在住の腹話術によるボランティア慰問活動に興味がある方。

(公募による募集)

参加者36名、

当会講師: 会長・理事長:池田武志、

山本理事他

(ボランティアの実際、技術的な指導、セラピー効果についてのレクチャー等)

外部講師: 英国人腹話術師人形師: ウェンディ・モーガン氏 腹話術並びに手づくり人形作成指導

・日本パペット・セラピー学会理事長、原美智子博士他

## 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

当初予定していた外部講師の米国人人形師ダイアナ・ビッグマウンテン氏が、急病で来日延期となり、その後の来日予定も不可となったため、別途来日予定の英国人腹話術師で人形師でもあるウェンディ・モーガン氏が担当する事になり、日程も半年近く遅れたが、実際は当初予定者に勝るとも劣らない充実した内容となり、結果的に大変良かったと考えています。

## 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

参加者の皆様は、既に腹話術を学んでいる人もいれば、全く初めての人もいたが、夫々に腹話術を学んでボランティア福祉慰問活動などをやってみたいとする意欲の高い方々が、参加したものだと思われ。

各講師のリードのもと、必要な知識や技能を身につけられ、今後、自分たちの活動の大きな励みになったものと思われ。

早速に地元の活動で役立てたいとする方々も居て、当初の事業目的は達成されたものと考えられます。

真如苑様のご助成に深く感謝いたします。

## 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし

# 腹話術による新規ボランティア慰問奉仕活動者研修会

平成25年10月11日（金）

